

おかにし



夏休みを迎えます



1学期もあとわずか、いよいよ夏休みです。学校の各学年の花壇には、春から育ててきたそれぞれの野菜が実っています。先週、2年生は、自分たちが育てた野菜を使ったピザを焼き、今年の夏を味わいました。自分たちで育てた野菜の味は格別だったでしょう。



さて、今年度もコロナ禍の中でのスタートでしたが、5月8日に新型コロナウイルス感染症の分類が5類となり、様々な活動が制限なく行えるようになりました。

授業では、ペアやグループで話し合い、家庭科でもグループでの調理実習を行っています。月に1回、体育館で全校で集会を行えるようになり、授業参観は、保護者の皆様に教室に入って見ていただけるようにもなりました。

また、今年度の水泳学習は、全学年で行いました。1年生から4年生は、小学校のプールに入るのが初めてでした。最初はこわごわだったのが、だんだんと慣れ、気持ちよさそうに浮かんだり、手をピンと伸ばしてバタ足で泳いだりと、楽しく水泳に取り組んでいる様子がありました。水泳学習の最終日には、6年生が自分の命を守ることを目的とした着衣水泳に取り組みました。生き生きと学習に取り組む子どもたちの姿が戻ってきました。



新型コロナウイルス感染症が、再び広がっているというニュースがありますが、健康面についてはこれまで同様に気を緩めず、今年の夏休みをそれぞれに有意義なものにしてほしいと願っています。

陵西小の校章に込められた思いとは

来年度、陵西小は150周年を迎えます。改めて、昔の資料などを探しているところです。その中に、陵西小の校章について書かれているものがありました。

陵西小の校章は、今から約70年前の昭和29年11月17日に決められました。その当時、陵西小学校におられた先生方で話し合っただけで決められたそうです。

まず、中央に陵西小を文字でデザインして表したそうです。上部のカタカナの「オ」と、下部のカタカナの「カ」で、中央にある漢字の「西小」を囲んでいます。

そして、当時の教育目標である仲よし教育の精神の心と心を結ぶことを、心の3字を取り結ぶことで表したそうです。

さらに、教員、児童、保護者と地域の三者一体の教育体制を表すため、三角で周囲を取り囲んだそうです。

人の心と心をむすんでいくことを目指し、子どもと教員と保護者や地域が一体となって教育を進めていくことを表しています。

今、改めて、校章のデザインに込められた願いを知り、引き継ぎ、これからの陵西小学校の教育活動の中で、その実現に向けた取組を進めていかないと考えています。



